

聖書の祈りが私の祈りになる（旧約編）

第5章 ソロモンとイスラエル後期のリーダーたちの祈り⑥



ヒゼキヤ



神の関心を求める願い 勝利のただ中における困難な時

ヒゼキヤの祈りの姿からも多くを学ぶことができます(Ⅱ列王18章～20章11節、Ⅱ歴代29章～32章まで、イザヤ36章～39章までを参照)。彼はかつて、神に祈らず、敵に屈服してしまっていたことがありました。「そこでユダの王ヒゼキヤはラキシユのアッシリヤの王のところへ人をやって、言った。

『私は罪を犯しました。私のところから引き揚げてください。あなたが私に課せられるものは何でも負いますから』(Ⅱ列王18:14)。しかし敵は、わずかな貢ぎ物では決して満足しません。常にさらに多くを要求してくるものなのです。

神の関心を求める願い

ヒゼキヤは、学ぶべき教訓を既に学んでいました。困難に屈服するのは愚かなことだという教訓です。この教訓は、誰もが学ばなければならないものです。困難に屈服してしまうと、それはやがて、新たな力を帯びて戻ってきます。一つの困難に降参してしまうと、次に襲ってくるものは、抵抗するのがさらに難しくなります。ところが、一つの困難に立ち向かうと、次のものもまた、克服するのが容易になります。そして、その克服の過程で決して欠くことのできない鍵が、祈りなのです。

神に対するヒゼキヤのアプローチは、祈りの答えを確実に得たいと願う全ての人々にとって模範となるものです。**祈りの向けられている神を認識し、この神を高く宣言していくならば、そこに信仰が高まってくるのです。**



ヒゼキヤは主の前で祈って言った。「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、主よ。ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。あなたが天と地を造られました。主よ。御耳を傾けて聞いてください。主よ。御目を開いてご覧ください。生ける神をそしるために言ってよこしたセナケリブのこばを聞いてください。」

「主よ。アッシリヤの王たちが、国々と、その国土とを廃墟としたのは事実です。彼らはその神々を火に投げ込みました。それらは神ではなく、人の手の細工、木や石にすぎなかったのです、滅ぼすことができたのです。私たちの神、主よ。どうか今、私たちを彼の手から救ってください。そうすれば、地のすべての王国は、主よ、あなただけが神であることを知りましょう。」

(Ⅱ列王記19:15-19、また19章の残り、イザヤ37:14-20を参照)

ヒゼキヤは、神をどのような方であると捉え、神のことをどのように語っているのでしょうか。

1. ヒゼキヤは「**イスラエルの神、主よ**」と呼びかけています。この方こそまさに敵があざけっている神にほかなりません(Ⅱ列王19:10-12を参照)。
2. ヒゼキヤは主の家で祈っていますが、そこは神が「**ケルビムの上に座しておられる**」(Ⅱ列王19:15)場所でした。**神のご臨在に気づいている人はなんと幸いなことでしょう。**
3. ヒゼキヤは**神を超越的な絶対者として認識**していました。「ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です」。ヒゼキヤにとって、神へのこのような包括的な見方には、目下の敵であるアッシリヤも含まれていたものであり、これは彼の信仰を大いに鼓舞してくれるものとなっていました。
4. ヒゼキヤは**神を創造主として認めています**。「あなたが天と地を造られました」。少なくとも十回、聖書の祈りの中では(おもに旧約聖書において)、神が「**天と地の造り主**」であると認識されています。この告白は信仰を励ましてくれるものですが、その後の初代教会においても一般的なものであったようであり、(例えば、聖歌『輝く日を仰ぐとき』など)現代の作曲家たちの創作を助けるものにもなっています。

神の関心を求めるヒゼキヤの願いは、彼の信頼を表すものとなっています。彼はそれまでに、神を中傷し、結果として自分こそいかなる神よりも偉大だと語る、アッシリヤ王セナケリブからの傲慢な書状を受け取っていました。ヒゼキヤは、自らの統治の初期に信仰の復興を目撃していました。彼は神の偉大さを知っていたのです。また、自らの軍勢がアッシリヤ軍に太刀打ちできないことも知っていました。**信仰により、彼は書状をすぐに神殿に持って行き、主の御前に大きく広げました**(Ⅱ列王19:14、イザヤ37:14を参照)。脅迫の手紙を扱うには、神の導きに対して敏感であることが強く求められるのです。

ヒゼキヤは事実を否定しようという誘惑に駆られることはありませんでした。「主よ。アッシリヤの王たちが、国々と、その国土とを廃墟としたのは事実です」(Ⅱ列王19:17)。ヒゼキヤのこのような言葉を、今日のある人々は、否定的な告白であり、信仰の敵だと決めつけることでしょう。しかし、現実逃避の態度からは、得られるものはほとんどありません。それは、問題を解決しないのです。奇跡を行うことができるのはただ神のみであり、現実をできるだけ早く認識すればするほど、神の助けも早急にいただけるのです。(国々の神々に対するアッシリヤの優越性という)事実と直面したヒゼキヤは、「そうすれば、地のすべての王国は、主よ、あなただけが神であることを知りましょう」(19:19)と、自らの、価値ある、嫉妬にも似た(訳注:"worthy and jealous「嫉妬にも似た」というのは、この文からは理解しにくい、強大な力を誇るアッシリヤに向けられたものと思われる)思いを口にするのです。

勝利のただ中における困難な時

ヒゼキヤの祈りの中でも最も記憶に残りやすいものは、おそらくⅡ列王記第20章に記録されているものでしょう(Ⅱ歴代32:24-26とイザヤ38:1-22も参照)。ちょうどイザヤが、重い病気にかかっていたヒゼキヤに、回復することはもはやないから家を整理するようにと告げたばかりのことでした。

そこでヒゼキヤは顔を壁に向けて、主に祈って、言った。「ああ、主よ。どうか思い出してください。私が、まことを尽くし、全き心をもって、あなたの御前に歩み、あなたがよいと見られることを行ってきたことを。」こうして、ヒゼキヤは大声で泣いた。(2-3節)



神のしもべたちの偉大な勝利と、その敵たちの大きな敗北の中には、しばしば、しもべたちにとっての困難な時が含まれます。神殿から金を取り、セナケリブに貢ぎ物として渡すと、ヒゼキヤは「病気になるって死にかかっていた」(20:1)というほどの状態になってしまいました。しかし彼は、祈ったことで、神がアッシリヤ人からエルサレムを解放してくださるという確証が得られます。私たちは、困難な時が起こるのを神がなぜお許しになっているのかと怪訝に思うことがあります。おそらく、私たちが高慢になり、不当な栄光を自らに帰すことのないようにという、私たちを守るための神の知恵なのでしょう(Ⅱコリント12:1-10を参照)(ここで注意すべきことは、聖書はセナケリブの侵略の物語を完全に終えてしまってからヒゼキヤの病気の話に戻っているという点です。これは紀元前701年の初めに起こったことです。神がヒゼキヤに、Ⅱ列王記20章6節の約束を既にお与えになっていたことは、Ⅱ列王記18章29-31節、33節に記録されているアッシリヤの司令官のコメントから明らかです(訳注:「司令官」という言葉は、原書では"field commander"日本語訳ではいずれの訳でも「ラブ・シャケ」(Ⅱ列王18:17を参照)だが、これは人名ではなく、「主席献酌官」を本来の意味とするアッシリヤの役職の一つ))。

ここでのヒゼキヤの祈りでは、二つの点に注目しておきましょう。①顔を壁に向け、②大声で泣いた、という2点です。顔を壁に向けたということは、彼の、自分には一人の時が必要であり、神との膝をつき合わせた個人的な交わりが必要だという意識を反映しています。神を見出すには、多くの人々と一緒にいる時よりも一人だけである時のほうがたやすいものです。イエスご自身もしばしば山や人里離れたところに行き、一人である時を求めました(例、マタイ14:23、マルコ1:35)。また、泣くことと祈ることは、一緒に起こっていいことです。心の奥底にある感情を、とりわけ祈りの祭壇において涙とともに表現することを、不適切とみなす必要はありません。私たちの主についても、「大きな叫び声と涙とをもって祈りと願いをささげ」(ヘブル5:7)と書かれているからです。

その真摯な祈りが聞かれ、ヒゼキヤの命はさらに15年間延びるところとなりました。そしてこの期間は、祝された素晴らしい信仰復興の時となりました。神の奇跡によるセナケリブの敗北に伴い、戦いの陣営は既に解かれました。人々は信仰に立ち、従順に歩んでいました(Ⅱ列王18:36)。神は彼らに慰めをお与えになりました(イザヤ40:1)。その結果、イザヤは40章から66章までの素晴らしい預言をすることができたのです。

？ 質問

- 1 ヒゼキヤが祈らなかったために学んだ教訓は何でしたか？
あなたにも、祈らなかったために教訓を学んだことがありますか？
- 2 ヒゼキヤは、神を天地の造り主であると告白しています。神を天地の創造者であると信じると、祈りに
どういう変化が起こりますか？
あなたもヒゼキヤと同じように神を理解して祈っていますか？
- 3 現実逃避をせずに、直面している現実をできるだけ早く認めることは、祈りにとってどのように助けになりますか？
あなたが、厳しい現実の状況を認めても、なお祈り続けるためにはどうしたらよいと思いますか？
- 4 困難な時が起こることを神が許される理由として、どんなことが考えられますか？
- 5 重い病気にかかった時にヒゼキヤは神に必死に祈りました。彼の祈りにある2つの注目すべき点は何ですか？
ヒゼキヤの祈りから、あなたが見倣いたいと思うことは何ですか？
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

主よ。問題や危機を感じたときに、目を逸らすことなく、正しく受け止める勇気を与えて下さい。あなたが創造者であり、偉大な神であり、いっしょにいて下さる救い主であることを悟らせて下さい。あなたの臨在を信じるからこそ、今起きている現実そのままをあなたに訴えることができますように。